



# 道楽行楽ガイド

電話：03(6910)2185 ファクス：03(3595)6936

## 始めま 専科



### スキューバダイビング

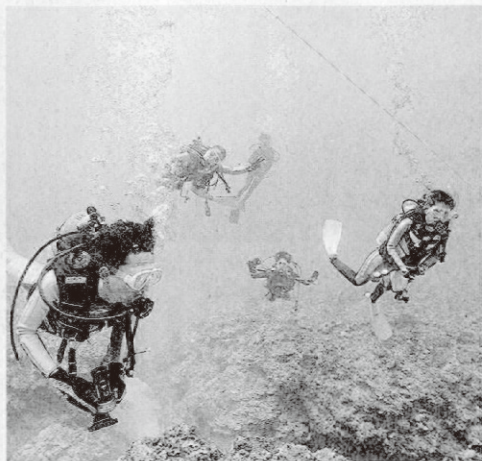
「一番身近に野生の生き物と接することができる。一面、生物に囲まれ、自然との一体感を得られるんです」

都内でダイビングスクールを運営するザダイブファクトリーを訪れ、マネジャー芦澤宏明さんにスキューバダイビングの魅力を尋ねると、間髪入れずに答えが返ってきた。

「しかも潜る場所、季節、時間によっていつも新鮮な感動があります。海中に差し込む太陽の光も幻想的ですよ」と。

海中では浮きも沈みもしない状態でふわふわと漂う。息を吸い込むと浮き、吐き出すと沈む。聞いただけでリラックスできそうな気がしてきた。

ダイビングを行うには指導団体が発行しているCカードと呼ばれる



自然との一体感が魅力のスキューバダイビング

る認定証を取得するのが一般的。取得には各ダイビングスクールで一定の研修を受ける必要がある。

同社の場合、申し込むとテキストなどを渡され、まずは机上の勉強。気圧、水圧の話からハンドシグナルと呼ばれる海中でのコミュニケーションション法、海のメカニズムなどを独学する。ある程度分かったら半日の学科講習を受ける。知識が十分だと認定されれば今度はプール講習。口だけで呼吸する方法や耳抜きなどの仕方、緊急時の対処法などなど。ほとんどの人は1日の講習で十分だそうだ。

その後、伊豆・城ヶ崎へ1泊2日の海洋講習。40分前後の潜水を1日2回、計4回行い、修了すればCカードを取得できる。1カ月程度で全課程を終わる人が多いという。

10代から70代まで幅広い年齢で楽しめる。「伊豆、房総、三浦半島が日帰り圏内にあり、伊豆諸島、沖縄も近い。実は関東のダイバーは世界で最も恵まれたダイビング環境にあると思っていますよ」と芦澤さんは誘う。「自然が相手なので海のコンディションに逆らわず、現場のインストラクターの指示に従って楽しんでください」と注意も忘れなかった。

(N)

## 魚になって海中を自由に

### ●用具は…

ウェットスーツが5万円程度。マスク、シュノーケル、フィン、グローブ、ブーツに持ち運び用のバッグと重りをつけるウェイトベルトのセットで4万円程度。「レギュレーター、ダイブコンピューターなどの器具は初心者のはじめはレンタルで。買うのは続けることを決めてからで十分です」と芦澤さん。

★ザダイブファクトリー 東京都三鷹市井口3の6の16。認定証のCカード取得のためのオープンウォーターダイバーコースで4万6000円(税別)。プールでの体験ダイビングは3000円(同)。他に個人レッスンコースや思い出しダイビングコースなども。いずれも16歳以上が対象。毎週水曜と第1月曜定休。☎0422・34・0600